

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

# ITを活用した直行直帰の実現！



～時短・生産性を向上させる工夫～

①

「うちの主にインターネットの配線工事をやっているんだ。作業員には毎朝、現場に赴く前に事務所に出勤してもらい、朝礼で当日の現場や業務指示を行ってから、それぞれの現場に出発してもらっているんだ。だけど、先日、従業員から要望があったね。」

「確認している」

「どのような要望だったのですか。」

②

「それがね。事務所に行くのは手間だし、作業後は疲れているのに事務所に帰るのは余計に疲れるから、直行直帰したいという要望があったんだ。とは言っても、現場には一人で行かせているから、直行直帰だと当日の業務指示もできないし、管理が難しいと思うんだ。」

「把握もできない」

「労働時間の削減もできない」

「直行直帰だからといって、管理が難しいとは限りませんよ。」

③

「例えば、クラウド型のモバイル端末を導入し、その端末で従業員への作業指示や図面提示、出退勤の管理を行ってみるのはいかがでしょうか。直行直帰による不安もクリアできます！」

「クラウドかあ」

「労働時間の削減にもつながります」

「直行直帰にする」

④

「現場作業者に施工管理ツールがインストールされたタブレットを支給し、直行直帰で現場に向かえるようにしたところ、従業員からの評判も良く、業務効率も大幅に向上しました。ペーパーレス化、経費の節約にもつながっています。」

「業務効率は大幅向上！」

「労働時間は大幅削減！」

## 取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」  
「36協定上限引下げ★+設備投資★★=★★★★」に該当

業種：電気設備工事業 従業員数：22名

インターネットの配線工事は短時間で終わることが多いため、1日に何件も個人宅などの現場を回ることがある。そのため、当日の人員配置や業務指示を行う必要があり、全員を事務所に出勤させ、朝礼で指示を行っていた。従業員からは直行直帰にしてほしいという要望があったが、労働者一人で現場を回ることが多く、労働時間管理上の問題から直行直帰を認めないでいた。

- ＜現場作業員向けの施工管理業務にITツールの活用＞
- クラウド型の施工管理システムを導入する※。
  - 現場作業員全員にタブレット端末を配付する。
  - 労働時間管理については、施工管理システム及びタブレットに備わっているカメラを活用する。



【施工管理システム導入費用を助成！】  
○時間外労働等改善助成金  
(時間外労働上限設定コース)  
助成率最大 80%  
上限額最大 200万円  
◆助成金等には成果目標の達成状況等、一定の要件があります。

- ・当初は直行直帰による労働時間管理に不安を抱く従業員もいたが、クラウド型タブレットのおかげで、直行直帰でも適切に労働時間管理が行えることから、従業員の不安も解消された。
- ・直行直帰ができるようになったことで、作業を終えてから事務所に戻る手間がなくなり、従業員の疲弊が軽減された。また、労働時間が削減されたため、36協定の上限を引き下げた※。

## 御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、「愛知県働き方改革推進支援センター(平成30年度実施機関:愛知県社会保険労務士会)」で相談を受け付けています。

■ 本 部:名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

■ 豊橋出張所:豊橋市花田町字石塚42-1(豊橋商工会議所内)

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com